

農業資材審議会飼料分科会（第24回）及び同安全性部会（第23回） 議事概要

1 日 時

平成21年3月31日（火）15：25～17：00

2 場 所

農林水産省7F講堂

3 出席委員（敬称略）

荒川宜親、有田芳子、石綿肇、小西良子、渋谷淳、渋谷直人、高溝正、竹内俊郎、寺田文典、矢野秀雄（座長）、渡部終五

4 会議の概要

（1）遺伝子組換え体利用飼料の安全性確認

「除草剤グリホサート及びアセト乳酸合成酵素阻害剤耐性ダイズDP-356043-5」の安全性評価について、組換え体委員会での審議の結果（資料5-1及び資料5-2）が報告され、安全性の確認を行うことは適当と認めるとの答申がなされた。

（2）その他

① 牛及び鶏を対象としたメラミン及びシアヌル酸の移行試験（速報）

事務局から、乳牛及び採卵鶏にメラミン及びシアヌル酸を含む飼料を給与し、乳汁、卵、筋肉、臓器等へ移行したメラミンの分析結果を報告するとともに、今後これらの結果を統計学的に解析し、飼料等のリスク管理措置を検討する等説明し、了承された（参考資料1）。

② 食用不適穀類等の飼料転用に当たっての安全確認手続の制定

事務局から、食用不適穀類等の飼料転用に当たっては、汚染物質の定量試験結果や安全基準値、動物体内における代謝等の情報に基づき、事前に飼料としての安全を科学的に確認する手続の制定について説明し、了承された（参考資料2）。